

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日清オイリオグループ株式会社（証券コード:2602）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A
発行登録債予備格付	A

■格付事由

- 植物油の国内最大手。家庭用、業務用で国内トップシェアを維持している。植物油およびその連産品であるミールを主に販売する油脂事業のほかに、チョコレート原料や機能素材・食品などを扱う加工食品・素材事業、化粧品原料の販売を中心とするファインケミカル事業などを手掛ける。海外ではスペイン、マレーシア、シンガポールなどに拠点を有しているほか、北米での事業基盤強化を図るため、24年2月に Nisshin Oillio America（米国カリフォルニア州）を設立した。
- 当面の業績は底堅く推移するとみられる。植物油の価格競争は厳しく、今後も主原料である大豆や菜種の市況および為替変動などによる業績への影響は避けられない。ただ、付加価値品の販売強化に取り組んでいるほか、収益源の分散効果などを踏まえれば、当面も一定の利益を確保することは可能と考えられる。植物油業界における強固な市場地位や競争力などの事業基盤、良好な財務内容にも変化はない。以上より格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 25/3期営業利益は210億円（前期比0.8%増）の計画。加工油脂事業における販売価格の上昇などがプラス要因となる見通し。ただ、油脂販売においては、足元では大豆や菜種といった主原料の価格が下落傾向にある一方、物流費など諸コストが増加基調となっていることから、これらを反映した適正販売価格を維持していけるか留意する必要がある。今後の更なる収益力の強化に向けて、事業ポートフォリオの一層の拡充が重要と JCR では考えている。チョコレート用油脂、化粧品油剤、MCT（中鎖脂肪酸）など成長分野における取り組みおよび業績への成果を確認していく。
- 25/3期第1四半期末の自己資本比率は46.2%（前期末46.4%）と財務構成に大きな変化はない。引き続き、海外でのチョコレート用油脂の生産設備増強や研究施設の新設などの設備投資が計画されているほか、M&Aも機動的に行う方針である。ただ、キャッシュコンバージョンサイクルの適正化など営業キャッシュフローの安定化にも取り組んでいることから、有利子負債が大きく増加する可能性は低い。また、利益蓄積による資本の増加も想定されるため、今後も健全な財務状況を維持出来る見込みである。

（担当）井上 肇・金井 舞

■格付対象

発行体：日清オイリオグループ株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第10回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2014年9月10日	2024年9月10日	0.769%	A
第11回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2017年12月4日	2024年12月4日	0.240%	A
第12回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2017年12月4日	2027年12月3日	0.365%	A

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第13回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2017年12月4日	2032年12月3日	0.670%	A
第14回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2023年10月13日	2028年10月13日	0.658%	A

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	500億円	2023年10月1日から2年間	A

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2024年8月20日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：井上 肇
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年2月1日）、「食品」（2021年6月1日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 日清オイリオグループ株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)に基づく開示の対象となる場合はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル